



SDGs for School  
produced by Think the Earth



12



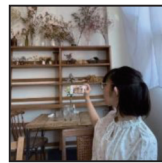
1年間ありがとうございました。私はこの1年間で、SDGsの様々な面を学

2020年12月に開催された超文化祭というイベントをきっかけに、有志が集まってくられた編集学生5人の任

春を感じる機会が増えてきました。4月からの新生活をきっかけに、何かを始めませんか？

『てらスクール』のメンバーとの関わりや執筆活動はとても楽しい経験になりました。これからは、たくさんの分野、人々を巻き込んで、アクションを起こしていきたいです。

『てらスクール』でのメンバーとの関わりや執筆活動はとても楽しい経験になりました。これからは、たくさんの分野、人々を巻き込んで、アクションを起こしていきたいです。



『てらスクール』での連載を始めてもうすぐで1年です。この1年間でたくさんの知識を得ることができました。

今後は現在活動している「やさしいせいふく」で、環境と人々にやさしい服のプロジェクトを新たに準備しています。また、個人的には、気候変動への対策として、食べるお肉の量を減らしていきたいです。

(みなみ・高校1年)

お久しぶりです！みつはです。



の影響でみなさんと直接会うことはできませんでしたが、もし機会があればお会いしたいです!!

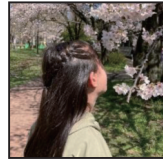
そして私は4月から大学生になります。不安もありますが、今よりもワクワクしています。大学では、『てらスクール』の活動で

学んだことをさらに深めながら、より実践に重きを置いていきたいです。

ESDジャーナルの年である2030年まであと8年となりました。私たちが「誰ひとり取り残さない」世界を実現させましょう!!

**(みつは・高校3年)**

私は、SDGsに関することを「メディアで発信する」活動は今回が初めてでした。誰でも知って



いるような「SDGs」の話題ではなく、みなさんが初めて知る情報を加えたいと思います。

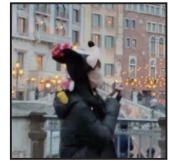
そこで、取材をすることでインターネットや本にはない情報を記事にしました。結果的には、SDGsの達成に向けて活動している多くの人とつながるきっかけにもなり、すごく楽しかったです。

私は世界の見え方が変わりました。記事を書くことを通じて、新しく学ぶことがたくさんあったからです。新しく知ることを記事にまとめ、読者のみなさんにも、編集メンバーと一緒に学んでいる感覚になっていただきたいと思います。ながら編集をしていました。

ESDジャーナルのみなさんとはとても優しく、最年少の私でも自由に発言できる環境でした。ありがとうございました。

**(のは・中学1年)**

編集チームのみなさんとはとても優しく、最年少の私でも自由に発言できる環境でした。ありがとうございました。



私は1年間『てらスクール』に参加してみて、それぞれの異なることに挑戦している学生さんとの交流や大人の方々のコミュニケーションなど学校ではできない放課後ならではのSDGsアクションをこれから楽しむことができそうです。これまでは興味を示していなかった坐禅体験などはコロナ禍でもある中、対面で実施できたことなど、とても充実したイベントも楽しめました。



2022年度から仲間に加わ  
 方！SDGsについて知らな  
 ったり、まだ知識が無いかも…  
 など不安があるかもしれませ  
 どもここはゼロからみんな  
 Gsアクションを起こす場な  
 初めての方でも安心して  
 SDGsについて学びを深め  
 ます！

（マコ・高校2年）



『てらスクール』の  
 執筆を始めて約1年  
 が経ちましたが、始  
 める前と今では、考  
 え方が少し変わりました。高  
 校生の時はSDGsに関するイ  
 ンターネットの主催や参加を積  
 めた時は、少しずつ活動が  
 減って

きていた時期だったんです。こ  
 れは、飽きとかではなくて、他  
 りたいことがたくさんあってそ  
 ちに力を注いでいた感じ  
 『てらスクール』に参加した理  
 も執筆作業を経験するため  
 しかし、実際に何か月か活動  
 いくうちに、楽しくなってきた  
 ぶいたら、次の号で書くSDGs  
 のネタを電車の中で考えていま  
 た（笑）。結果として、勉強  
 ったし、SDGsについて学び  
 す貴重な体験ができました。一  
 に頑張ってくれた編集メンバ  
 みんなはもちろん、読者のみな  
 にも感謝でいっぱいです。  
 ありがとうございます！！

（リョウ・大学1年）

今年も「超文化祭」が開催され  
 ます!!!  
 超文化祭では、「何か自  
 分にできることを探したい」  
 「プロジェクトを考えてみ  
 たけれど次の進め方が分か  
 らない」という生徒たちに  
 集まってもらい、「知る」  
 「つながる」「行動する」  
 をコンセプトに、学校を超  
 えて多くの生徒や大学生、  
 そして企業やNPO/NGO  
 が集まって、未来に向けての  
 行動を考えるための「文化祭」  
 です。てらスクールのプロジ  
 エクトもここから生まれました!!!  
 ぜひ、参加してみませんか？



超文化祭ホームページ



協力：一般社団法人シンク・ジ・アース / 新渡戸文化高等学校教諭 山藤旅蘭

